



▲東西チームに分かれて綱引き

新しい試みに挑む

逢坂地区 「9月29日(日)」

「第1回逢坂地区ふれあいまつり」が開催されました

「少子高齢化の影響で参加者が少なくなった」「競争的要素の強い種目が多い」などの理由から、逢坂地区では、地区運動会へ参加しない・参加できないとする集落が増加する状況になっていました。

このままでは地区運動会を継続することが難しくなるとして、前逢坂地区区長会を中心に、運動会を地区全体が交流できる場に見直そうという議論が起きました。そこで今年に入ってから、前区長会長、公民館、逢坂地区のまちづくり委員のみなさんが集い、幾度も回を重ねて運動会の在り方について検討を進めてきました。



▲好評だった飲食スペース。競技の間にほっとひと息

また、この取り組みは、単に、運動会そのものを見直すということだけにとどまらず、今後、逢坂地区全体での各集落間の交流や、支え合いのための組織づくりを進めるきっかけとなることを念頭に置いたものです。

名称・内容を変更

名称を運動会から「逢坂地区ふれあいまつり」に変更し、イメージを一新。集落対抗の競技も残しつつ、逢坂地区の集落を東西に分けたチーム構成にしたり、年齢や体力等を気にせず、参加しやすいレクリエーション種目を取り入れたりするなど工夫をしました。

また今回は、逢坂地区における名所の一つである「木の根神社」にちなみ、根菜類がたっぷり入った「根っ子汁」、住吉集落からは「イカ焼き」、異業種の若者たちで構成するまちづくり団体「築き会」による「フランクフルト」の販売など、食を楽しむ出店も登場。子どもから大人まで、競技を通しての交流、食を通してのふれあいも深めることができました。

昨年の実績と比べ、今年は4集落多い11集落が参加しました。天候に恵まれたことやイベント要素も加わったことで、大勢の方楽しんでいただけたと思います。